

葛巻町学習塾の新たな取り組み タブレットを利用した映像学習



葛巻町学習塾の様子。音が漏れないようにイヤホンをしながらタブレット端末を利用して学習する塾生たち

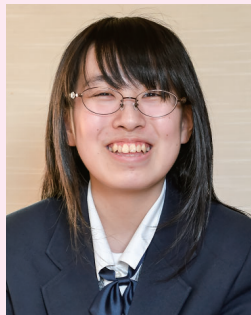
葛巻町学習塾では、5月7日から希望する生徒を対象に、タブレット端末を活用して学習ができる映像学習教材の利用(一部有料)を始めました。

予備校の講師がタブレットの画面を通じて講義を解説。主要5教科の単元ごとに細分化した講座に加え、小論文などもあり、苦手科目の復習や大学の入試対策などに利用することができ、ます。都市部と変わらない教育環境を整えることで、生徒一人ひとりの夢の実現

に向けて、学習方法の選択肢の幅を増やし、より細かい対応が可能になりました。受講する生徒には専用のパスワードが貸与され、「Wi-Fi」環境があれば、塾以外の場所でも視聴することができま。

また、講座の内容はそれぞれの進路に合わせていつでも変更可能で、塾の講師が進捗状況をパソコンで管理し、葛巻高校の教師らと情報を共有しながら進路実現に向けてサポートしていきます。

タブレット学習の感想を聞きました



千葉 梨音さん(2年)

進級するときに進学クラスに変更。学習内容が違うため数学と英語の振り返りに使っています。タブレット学習は映像で説明してくれるので、教科書だけで勉強するよりも分かりやすいです。何回でも問題を解けるので、家でもときどき復習しています。慣れてきたら物理も受講してみたいと思っています。



町産材を使用した温かみのある空間

くずまき山村留学生寄宿舎 開舎式



①町産材や暖炉で温かみのある食堂②山村留学生以外の生徒や地域住民との交流の場としても活用できるように自由に使えるキッチンを配備③帰宅時間が異なっても温かい食事が提供できるように配慮④居室は2人部屋。机と棚の位置を変えることができる

くずまき山村留学生寄宿舎の開舎式は5月7日、同舎で行われ山村留学生16人のほか関係者らが出席して行われました。

鈴木重男町長は「都市にない山村の魅力や豊かさを高校に通う3年間で感じてほしい。将来、葛巻に住んで良かったと思いつ、葛巻高校に誇りをもってもらえるような環境をつくっていきましょう」とあいさつ。中崎和久町議会議長が「この寄宿舎でしっかりと勉学に励みながら、将来への自らの思いを成し遂げるように頑張ってください」と祝辞を述べました。

山村留学生を代表して亀山大起さん(2年)が「勉強や部活動に励み、共に支え合い、協力して頑張っていきたいと思います」と誓いの言葉を述べました。その後、テープカットが行われ、出席者たちは町産材を使用した温かみのある寄宿舎内を見学。くずまき高原ヨーロッパで乾杯し、完成を祝いました。

伊藤光さん(2年)は「学校が近くなり、朝の時間帯に余裕ができました。早く寄宿舎の生活に慣れて、後輩の見本になれるように頑張りたいです」と完成を喜び、新しい環境での学生生活の始まりに気を引き締めていました。



①テープカットの様子②山村留学生を代表して誓いの言葉を述べる亀山大起さん③説明を受けている寄宿舎内を見学する出席者たち